

平成 24 年 12 月 26 日

津市総合計画審議会

会長 武田保雄様

芸濃地区地域審議会

会長 鈴木宗男

津市総合計画後期基本計画案に係る意見・提言について

津市総合計画後期基本計画案について、当審議会では慎重に審議を行った結果、市民にわかりやすく、身近に感じていただけるよう、固有名詞を挙げ、具体的な記述が望ましいとの結論に至りました。

なお、審議の過程で出された意見・提言について、下記のとおりまとめましたので、同計画に係る津市長への答申に当たっては、この内容を十分尊重していただきますようお願いいたします。

## 記

## 1 「第2章 目標別計画」について

- (1) 「安全で安心して暮らせるまちづくり」に関し、自主防災力の強化については、組織強化・活動支援等の施策が計画されていることから、より効果の高い取り組みを実施されたい。

(理由)

当地域におきましては、全域に自主防災組織が設置されましたが、地域の防災力強化は、住民一人一人が危機管理意識を共有することが重要であり、より自主的・自発的な活動が望まれるため。

- (2) 「安全で安心して暮らせるまちづくり」に関し、治水対策の推進については、河川整備の進捗及び適切な維持管理の促進が計画されていることから、早急な浚渫を進められたい。

(理由)

当地域におきましては、台風による安濃川・中ノ川等の氾濫が常に想定されることから、早急な浚渫等の河床整備が望まれるため。

- (3) 「安全で安心して暮らせるまちづくり」に関し、高齢者福祉の充実については、高齢者が安心して生活できる地域社会の推進が計画されていることから、関係諸団体の一層の連携についても進められたい。

(理由)

当地域には、山間部に高齢化が進む集落があり、推進にあたっては、関係諸団体の一層の連携が望まれるため。

- (4) 「安全で安心して暮らせるまちづくり」に関し、障がい者（児）福祉の充

実については、自立と社会参加の促進が計画されていることから、精神障がい（発達障がいを含む。）者の支援施設設置についても進められたい。

（理由）

当市には、精神障がい（発達障がいを含む。）者の社会復帰を支援する施設が少ないため。

（5）「安全で安心して暮らせるまちづくり」に関し、子育て・子育て支援の推進については、子育て家庭支援の充実が計画されていることから、地域子育て支援センターの実施箇所の増加を進められたい。

（理由）

当地域におきましては、芸濃保健センター内に設置され、多く利用されていることから、市内実施箇所の増加が望まれるため。

（6）「安全で安心して暮らせるまちづくり」及び「豊かな文化と心を育むまちづくり」に関し、子育て・子育て支援の推進・生きる力を育む教育の推進については、津市独自のこども園の設置が計画されていることから、早急な設置を進められたい。

また、同園の設置にあたっては、延長保育等を含めた市民ニーズの把握に努められたい。

（理由）

当地域におきましては、合併合意事業として（仮称）芸濃幼児園整備事業があり、現在も園児数が増加していることから、早急な設置が望まれるため。

（7）「豊かな文化と心を育むまちづくり」に関し、生涯学習の推進については、学習施設の整備・充実が計画されていることから、地域の要望等を踏まえ、効果的な活用を進められたい。

（理由）

当地域におきましては、閉校後の学校施設が2つあり、閉校後も地域行事等に活用していることから、その活用については、地域への配慮が望まれるため。

（8）「豊かな文化と心を育むまちづくり」に関し、歴史的資源の保存と活用については、歴史資源の保護・継承が計画されていることから、早急な保存を進められたい。

（理由）

当地域におきましては、本市が所有する唯一の国登録有形文化財である旧明村役場庁舎が現存するが、老朽化が著しく、その価値を継承するためにも、早急な保存が望まれるため。

（9）「活力のあるまちづくり」に関し、農業の振興については、農地の保全対策が計画されているが、中山間地域においては現状を踏まえ進められたい。

（理由）

当地域におきましては、中山間地域の耕作が困難な農地については、獣害

の被害も多く、転用等も含めた活用が望まれるため。

- (10)「活力のあるまちづくり」に関し、農業の振興、林業の振興については、獣害対策の推進が計画されていることから、早急且つ有効な対策を進められたい。

(理由)

当地域におきましては、防護柵の設置や猟友会との連携による地域ぐるみの取り組みを行ってきたが、その被害は減少せず、通学路へも現れるなど危険な状況にあるため。

- (11)「活力のあるまちづくり」に関し、道路ネットワークの整備については、体系的な道路網の整備が計画されているが、現状を踏まえ、県道津関線の整備を含め、将来を見据えた整備を進められたい。

(理由)

当地域におきましては、県道津関線が伊勢自動車道芸濃 I C に連絡し、国道 23 号線、中勢バイパス、グリーンロード、名阪国道を結ぶことから、年々交通量が増加し、慢性的な渋滞を引き起こしている。また、中勢北部サイエンスシティへの連絡道路としても期待されることから、当該道路の拡幅を計画に含めることが妥当であるため。

- (12)「活力のあるまちづくり」に関し、公共交通の充実については、コミュニティ交通システムの整備が計画されているが、より安全・安心な移動手段として進められたい。

(理由)

当地域におきましては、公共交通機関が乏しく、また高齢化が進み、近年大型郊外店の進出もあり、買い物弱者の増加が見込まれる状況にあるため。

- (13)「活力のあるまちづくり」に関し、公共交通の充実については、鉄道の利便性の向上等として、リニア中央新幹線の早期建設と県内への停車駅設置に向けて取り組まれる旨、計画されているが、実現に向け積極的に進められたい。

(理由)

当地域におきましては、計画候補地が隣接しており、本市経済の発展にも大きく影響を及ぼす可能性が見込まれるため。

- (14)「活力のあるまちづくり」に関し、観光の振興については、見どころの魅力向上として、駐車場等、来訪者の利便性に配慮した整備が計画されているが、実現に向け積極的に進められたい。

(理由)

当地域におきましては、石山観音公園は観光スポットの一つであり、名阪国道関 I C、バスセンターが近く、今後も観光客の増加が見込まれるため。

- (15)「活力のあるまちづくり」に関し、観光の振興については、来て楽しめる仕組づくりとして、観光地へのアクセス道路等の整備充実の促進等計画され

ているが、実現に向け積極的に進められたい。

(理由)

当地域におきましては、錫杖湖周辺への観光客増加が課題であり、県道津芸濃大山田線（芸濃町雲林院市場～瀬野橋・河内落合～伊賀市間）、林道柚木越線の拡幅により、更に観光客の増加が見込まれるため。

(16) 「活力のあるまちづくり」に関し、観光の振興については、来て楽しめる仕組づくりとして、体験型プログラムの創出等の支援が計画されているが、積極的に進められたい。

(理由)

当地域におきましては、錫杖湖周辺施設の多目的な活用が課題であり、素晴らしい自然環境を有していることから、体験型プログラム等の創出が望まれるため。

(17) 「参加と協働のあるまちづくり」に関し、総合支所による地域住民との協働については、地域課題の解決に向けた機能強化が計画されているが、地域の声を受ける体制づくりも進められたい。

(理由)

本市では、10の地域審議会が設置されているが、今後、地域の声を届けることを踏まえ、設置期間終了後も新たな仕組みが望まれるため。

## 2 「第3章 重点プログラム」について

(1) 重点プログラムの「まちづくり戦略プログラム」における「産業拠点を中心とした積極的な企業誘致の展開」につきましましては、中勢北部サイエンスシティにおける企業立地等を踏まえ、本市の優位性として、芸濃ICを含めた情報発信を追記していただきたい。

(理由)

当地域にある伊勢自動車道芸濃ICは、県道津関線に連絡し、国道23号線、中勢バイパス、グリーンロード、名阪国道とつながることから、中勢北部サイエンスシティへの企業誘致において利便性の高さをPRできるため。

(2) 重点プログラムの「まちづくり戦略プログラム」における「歴史と文化の拠点形成プログラム」につきましましては、旧明村役場庁舎の保存・活用といった観点からの施策を追記していただきたい。

(理由)

当地域におきましては、本市が所有する唯一の国登録有形文化財である旧明村役場庁舎が現存するが、老朽化が著しく、その価値を継承するためにも、早急な保存が望まれるため。

(3) 重点プログラムの「元気づくりプログラム」における「災害に強いまちづくりの推進」の主要河川の整備及び維持管理の促進につきましましては、中ノ川水系（中ノ川）も追記していただきたい。

(理由)

当地域におきましては、台風による安濃川・中ノ川等の氾濫が常に想定されることから、早急な浚渫等の河床整備が望まれるため。

- (4) 重点プログラムの「元気づくりプログラム」における「人々が行き交う津づくり」につきましては、県道津芸濃大山田線（芸濃町雲林院市場～瀬野橋・河内落合～伊賀市間）、林道柚木越線の拡幅を追記していただきたい。

(理由)

当地域におきましては、錫杖湖周辺への観光客増加が課題であり、県道津芸濃大山田線（芸濃町雲林院市場～瀬野橋・河内落合～伊賀市間）、林道柚木越線の拡幅により、更に観光客の増加が見込まれるため。

- (5) 重点プログラムの「元気づくりプログラム」における「人々が行き交う津づくり」につきましては、石山観音公園の駐車場拡大整備を追記していただきたい。

(理由)

当地域におきましては、石山観音公園は観光スポットの一つであり、名阪国道関IC、バスセンターが近く、今後も観光客の増加が見込まれるため。

- (6) 重点プログラムの「元気づくりプログラム」における「即答・即応し実現する市役所づくり」につきましては、職員個々のスキルアップも施策に追記していただきたい。

(理由)

当市におきましては、今後も企業誘致等や外国人への対応等が必要であり、通訳等が可能な職員が望まれるため。

- (7) 重点プログラムの「地域かがやきプログラム」における「北部エリア」の施策「都市や自然と共存するふれあいの里づくり」につきましては、人的資源のネットワークの拡大を追記していただきたい。

(理由)

当地域におきましては、イベント等の開催を通じて、地域の魅力アップに取り組んでいるが、エリア内はもとより、エリア外にも交流の輪が広がることを望まれるため。